

## 第2分科会

### オンライン授業における学びの成果を

### いかに評価するか

#### 分科会概要：

新型コロナウイルス感染症の拡大にともないオンライン授業が急速に広まったことで、大学の授業形態は大きく変化し、学生の学習スタイルも変容した。個々の受講者の学びの様子や受講者全体の理解度をその場その時に把握することが困難なオンラインという授業形態において、定められた学習目標をどのように達成させるか、そのために学習成果をどのタイミングでどのように評価し可視化していくか。こうしたことが大学教育の現場において重要な課題となっている。本分科会では、リアルタイム双方向型授業の実践（講演1）、オンデマンド教材とリアルタイム質問受付（Zoom）を併用した実践（講演2）、完全オンデマンド型授業の実践（講演3）という3つのオンライン授業の実践事例について登壇者にご報告いただき、それを「呼び水」とすることで上記の課題について参加者全員で考えてみたい。

#### <プログラム>

14：00 趣旨説明

京都ノートルダム女子大学 国際言語文化学部 准教授 石川 裕之 氏

14：10 講演1. 「中規模私立大学における同時双方向型遠隔授業の実践と評価  
～1年生必修教養科目における取り組み～」

京都橘大学 経営学部 専任講師 多田 泰紘 氏

14：30 講演2. 「オンデマンド授業を通じた繰り返しアセスメントと  
リアルタイム質問受付による学習目標到達の試み」

京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 講師 後藤 伸彦 氏

14：50 講演3. 「学習指導案の作成と改善のための力量形成をめざす授業の内容と評価実践  
ー完全オンデマンド型授業における試みー」

滋賀県立大学 人間文化学部 准教授 木村 裕 氏

15：10 休憩

15：20 質疑応答・全体討論